


# 海外渡航報告書

鹿児島工業高等専門学校

グローバル高専事業	
渡航期間	平成28年9月11日(日)～平成28年9月16日(金)
渡航先	タイ(バンコク)
渡航者 (所属校)	大竹孝明(鹿児島高専)
	西留 清(鹿児島高専)
訪問内容 ・場 所 ・目 的	① カセサート大学(日本語学科での交流)
	② セイコーウオッチ(株)工場視察
	③ ローム(株)工場視察
	④ アユタヤ見学
	⑤ バンコク市内見学
報告・結果 今後の取組み	<p>①カセサート大学を訪問し、人間学部言語学科日本語専攻の教職員及び学生との交流を行った。カセサート大学及び本校の学生により、それぞれの国の歴史や現状について説明を行い理解を深めた。タイ語の研修等の後、ゲームを行い親睦を深めた。教職員及び学生と学内の見学も行った。</p> 
	<p>②バンコクから車で北へ約1時間のナワナコン工業団地にある、セイコーウオッチ(株)の工場を視察した。手作りの高級時計の生産も行われ、部品の製造から組み立てまで一貫した作業を見学できた。2011年の大洪水についても説明を受けた。</p> 
	<p>③セイコーウオッチ(株)の工場と同じナワナコン工業団地の、ローム(株)の工場を視察した。スマートフォン等のIC等を生産する一大拠点工場であるが、ICの製造など最新の設備を見学できた。2011年の大洪水からの復興についても説明を受けた。</p> 
	<p>④バンコク到着後、午前中に世界遺産に登録されているかつて王朝が開かれ、「水の都」とも呼ばれるアユタヤへ移動し、最古のワット・ヤイ・チャイ・モンコン寺院等を見学した。ビルマ軍によって破壊されたワット・マハタート寺院の仏塔や仏像が歴史を伝えているが、タイの繁栄と衰退の歴史を学んだ。</p> 
	<p>⑤アユタヤ訪問後バンコク市内へ戻り、エメラルド寺院や王宮等を見学し、黄金の寺院等に圧倒され、その繁栄に触れた。タイ王朝は1782年にラマ1世が開いたが、プミボン国王(ラマ9世)は国民から尊敬され、国中に国王の写真が飾られていた。</p> 
備考	<p>バンコクとしては珍しく雨天が続いたことにより、連日日本より蒸し暑かった。徒歩での移動も多く、皆少々疲れ気味であった。 最終日、空港までの市街で大渋滞に巻き込まれ、帰国便には間に合ったが、かなり余裕を持って空港へは移動した方が良かった。</p>

作成日 平成28年11月16日

作成:大竹 孝明